

報道関係各位

2015年8月12日

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、国富工場にてエネルギー教室を開催 ～国富町、宮崎市内の小学生を対象に～

【東京ー2015年8月12日】 - ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、世界最大級のCIS薄膜太陽電池生産工場である国富工場（宮崎県国富町、年産能力約900MW）にて、2015年8月6、7日の2日間にエネルギー教室を開催いたしましたので、お知らせいたします。

このエネルギー教室は今年で4回目の開催となりました。次世代育成支援・地域貢献の一環として、これまで宮崎工場（宮崎県宮崎市清武町、年産能力約60MW）で実施していた内容を継承し、2015年は国富工場で開催いたしました。

国富町や宮崎市内からご応募いただいた小学生計39名に、気候変動問題への対応や省エネの大切さと共に、太陽光発電が果たす役割や発電の仕組みについて、説明をおこないました。また、世界最大級の同工場内の見学や、太陽光の力で動くソーラーカーの組み立てなど、太陽のエネルギーを身近に感じられる機会となりました。

ソーラーフロンティアが宮崎県でCIS薄膜太陽電池の生産を開始して8年が経ちました。「メイド・イン・ジャパン」品質を、宮崎から世界へ。ソーラーフロンティアは、これからもCIS薄膜太陽電池の普及を通して、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にご提供してまいります。



【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世

代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPm認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部

吉田・高橋 TEL: 03-5531-5792